

# シルクロード 交流の歴史

1～2世紀の世界

2017年7月17日  
最新世界史図説  
14訂版 P14



## ヘレニズム文化の東伝

顔つきや衣服のひだにギリシャ風の特徴のある彫刻様式が東洋風に変化しながら伝わった

ヘレニズム文化は、アレクサンドロスの東方遠征によってギリシア文化やギリシアの人々が東方に広がり、オリент文化と融合してできた紀元前4世紀以降のギリシア文化である。

ヘレニズム時代は前30年古代ローマのエジプト併合まで約300年間続いた。コイナーとよばれるギリシア語が共通語となり、エジプトのアレクサンドリアではムセイオン(王立研究所)が作られて、自然科学や人文科学が発達した。

哲学ではストア派やエピクロス派が個人主義的、世界市民主義的哲学を説き、従来のポリス中心的思潮は、世界的・普遍的なものへと発展した。

また彫刻・建築などのギリシア美術はインド・中国・日本にも影響を及ぼした。

### ギリシア p.68

デルフォイ(デルフィ)の御者(前5世紀)



### ガンダーラ p.80

釈迦立像(2～3世紀)



### 中国 p.99

竜門石窟菩薩像(7世紀)



### 日本

法隆寺百済観音像(7世紀)

